

令和8年10月18日
執行

大山崎町長選挙公報



はたの
ひさの
ご

天然水と水脈を守り、
町民の命を守り抜く！

命を守る水と防災！中の池を安全拠点に

◆安全な天然水を再び台所へ！

大切な町民の水脈を徹底して守る

◆水災避難は車でイチ早く！

ぬかるまない「中の池」スペースに

◆中の池（官地）は車避難スペースに

◆大山崎2千3百戸車で避難

◆下植野区3百戸車で2山へ

安全な車避難ルートを全面サポート

◆全町民の財産「中の池」を皆で守り抜く

付度なし！身を切る町政改革

◆町長報酬30%カット！

まずはトップ自らが範を示す。

◆副町長は町関連の適任者を任用

◆特定の「該当付度」政治を刷新

前川共産Ⅱ井上自民Ⅱ該当付度

町民負担ゼロで地域・福祉再生

◆福祉は国・府の資金を徹底活用！

町民に負担をかけず福祉・手当を拡充。

◆地域の絆を守るため公民館Ⅱ各区会館の

維持・運営費を町費で

守る

安心・安全な町へ

- ▶ 町内道路の危険箇所の整備を進める。
- ▶ 阪急西山天王山駅南側の小倉橋に人道橋建設に向けた協議を進める。
- ▶ 防犯カメラ・防犯灯の設置を進める。
- ▶ 町道・府道の改良を進める。
- ▶ 防災情報の伝達手段の見直しを進める。
- ▶ 広域・民間と連携した防災体制づくりを進める。

拓く

活力ある未来へ

- ▶ 町営バスを安心・安全な運行へ見直す。
- ▶ 児童館の建設に向けた検討を進める。
- ▶ 子どもたちが安心して遊べる環境づくりを進める。
- ▶ 阪急大山崎駅・JR山崎駅周辺の整備を進める。
- ▶ 大量退職が続いた町役場を立て直し、風通しの良い組織を目指す。
- ▶ 国・京都府・近隣自治体と連携した町づくりを進める。

推薦

- ◆自由民主党
- ◆公明党
- ◆国民民主党
- ◆連合京都

対立より

3本の
決意の柱

Warm Heart Cool Head

対話でひらく新しい町

つなぐ

対話と協働の町へ

- ▶ 建設中の複合施設に運営協議会を設置し、にぎわいと交流の場づくりを進める。
- ▶ 保育園・保育所での紙おむつの無償化を進める。
- ▶ 町立保育所の建て替えについて議論を進める。
- ▶ 小学校・中学校の教育環境の充実を進める。
- ▶ 生活に不安を抱える方への支援を、国・京都府と連携して進める。
- ▶ 夏休み期間中の子どもの暑さ対策と食の支援に取り組む。

PROFILE

昭和32年2月 大山崎町生まれ 69歳、円明寺西法寺在住
大山崎小学校卒、第二乙訓中学校卒、乙訓高等学校卒、甲南大学経済学部卒、
化成品製造会社、三井住友海上火災保険株式会社、天王山地所株式会社 勤務
平成30年 大山崎町議会議員初当選
令和 4年 大山崎町議会議員2期目当選
令和 6年 大山崎町議会議員長



いの
うえ
井上
ひろ
あき

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を原文のまま掲載したものです。

10月18日の投票日は必ず投票しましょう

— 大山崎町選挙管理委員会 —

（うらもいらんください）

令和8年10月18日
執 行

大山崎町長選挙公報

3期目へ向けての5つの指針 都会にちかい「いなか」のまちづくりをめざす

1

子育て・教育のまち

- ①自然豊かな環境で育む「質の高い学び」
 - ・小中連携・一貫教育の推進（スムーズな学びの継続と中1ギャップの解消）
 - ・グローバル人材の育成（日本語力・英会話力の向上と国際理解教育）
 - ・基礎学力の向上と、不登校等に応じた多様な学びの場づくり
- ②切れ目のない子育て・共育で（とこそだて）支援
 - ・保育（保育所・学童保育）現場への支援強化による子ども環境の充実
- ③誰もが自分らしく活躍できる環境づくり
 - ・審議会など行政・地域の意思決定の場への若者・女性の参画推進

2

健康・福祉のまち

- ①シニア世代の生きがいづくり
 - ・長寿苑「シルバー大学校」の充実と学びの機会拡大
 - ・健康寿命の延伸に向けた取り組み
- ②地域で支え合う福祉と移動の安心
 - ・町営バスの維持・発展と、在宅医療・介護・地域コミュニティが連携する「地域包括ケア」の強化

【略歴】

大山崎町生まれ、大山崎小学校卒、乙訓中学校卒、京都府立乙訓高等学校卒、関西学院大学 理学部卒、大山崎町議会議員（5期）、大山崎町長に就任、大山崎町長に再選（2期目）

3

環境・魅力のまち

- ・天王山ハイキング道の整備・充実と、歴史・自然を活かした魅力発信
- ・お茶や池・円明寺山荘周辺の整備と「かわまちづくり（河川敷活用）」
- ・地域と調和した緑化運動と町立農園等の活性化

4

災害に強い「安心・安全」のまち

- ・バリアフリーで歩きやすい道路整備と、上下水道等のインフラ耐震化
- ・国道171号五条本交差点の拡幅実現
- ・JR・阪急駅前の整備

5

住民が主人公の「対話と誠実」の町政

- ・「町民目線」を徹底し、対話と誠実な姿勢で進める町政
- ・行政・財政の「見える化」
- ・行政手続きのデジタル化（自治会館・体育館など公共施設のネット予約、オンライン申請の拡充）
- ・大山崎投票の実現
- ・バイオトイレの設置



まえかわ ひかる
前川 光

【京都で一番小さな町 大山崎モデル】

お金をかけない、しがらみのない新しい町政へ

■大山崎をアップデートする3つの基本政策

① コンパクトシティの推進

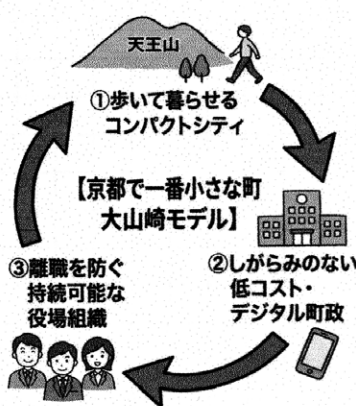
- ・少子高齢化への対応 ・行政サービスの効率化
- 「京都一小さな町」の特性を活かし、都市機能の集中と、車に頼らなくとも歩いて暮らせるモデル都市として全国に発信します。

② 低コスト選挙の実証

- ・誰もが立候補できる社会へ ・本来の民主主義を取り戻す
- 今、諸外国との関係を含めた複雑な社会情勢の中で、民主主義の在り方がとても大事になっています。資金がなくても志さえあれば挑戦できる「本来の民主主義」

③ 持続可能な「健康な町」へ

- ・町職員の離職ストップ ・役場の徹底したデジタル化
- 外部の専門的視点から組織風土を改革し、優秀な人材が定着する強靱な役場を取り戻し、デジタル化による効率化を進めます。



おしの ゆうだい
押野 祐大

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を原文のまま掲載したものです。

10月18日の投票日は必ず投票しましょう

— 大山崎町選挙管理委員会 —

（いづれもいらんください）